



赤井むつみ後援会便り第37号

笑顔あふれる温かい町に！

2017年9月 発行



貯金(基金)72億7104万円に！

一般会計 収入(歳入) 148億2060万円(昨年は136億9778万円)
支出(歳出) 141億2556万円(昨年は133億7112万円)
貯金(基金) 72億7104万円(昨年 67億8480万円)
借金(町債) 133億4565万円(昨年 131億9882万円)

28年度の決算は黒字決算となり、貯金も約4億8千万円増えました！

自主財源が27年度に比べ、54.3% 約18億6千万円の増。これは町税や寄付金、財産収入など全ての自主財源が増加したためです。

しかし、地方交付税が2億円(3.4%)、道支出金が3億9千万円(39.4%)減り、今後の人口減や、ふるさと納税の先行き不透明なことを考えると、決して安心できる現状ではないという報告がありました。

最近は大きな災害も多く、いざという時の備えも必要ですが、お金がないからと締めてばかりでは、町の活性化は望めないと思います。限られた財源ですから、みんなで知恵を出し合い、本当に必要なところ、今後の八雲町の発展に欠かせないところ、町民の幸せにつながるところに、しっかりと力を入れていくことが大切だと思います。



決算審議を終えて

28年度決算では、国保会計が赤字になりましたが、他は黒字決算となりました。1次産業が好調だったのは喜ばしい事です。地方交付税の減額、ホタテのへい死や先行き不透明なふるさと納税などの状況を考えると、不安定要素もあります。決算委員会の中では、役場や公民館の建物は耐震化をしていないので、大きな地震が来たら、情報の拠点としての役割を果たせないことから、今のうちに建て替えの準備をすべきではないかという意見も出され、町としても前向きに検討するということでした。

何よりも大切な町民の生命と生活を守り、更に、明るく希望に満ちたまちを目指すためにも、町民皆さまと共に考え、話し合いながら進めることの大切さを、改めて実感しました。

一般質問

問 『人材育成基本方針の策定を！』

人材育成基本方針は、八雲町が目指すべき姿を実現するための人事、組織の在り方に関する基本方針でもあり、町政の根幹をなすものだと思います。早急に策定に向けて取り組むと共に、人材育成専門室等を設置し、対応すべきだと思います。人材育成は、全ての業務に優先する最重要事項であり、人づくり、組織づくりから、まちづくりを展開すべきではないでしょうか？

答 『策定に向けて取り組みたい』

人材育成は町としても喫緊の課題と認識している。人材育成基本方針は、八雲町政の組織運営の根幹をなすものであると思っているので、策定に向けて取り組みたい。策定にあたっては、職員で構成する委員会を設置し、取り組みたいと考えている。人材育成専門室等の設置は考えていない。



問 『部制の導入を！』

この4年間でチェックミスの案件が10件ほどありました。誰でもミスはありますが、それらを縦の関係でしっかりとチェックし、未然に防ぐことが出来なかったことに危機感を感じます。また、今まで各課の連携を何度も訴えてきましたが、課題も多く連携することが難しいということが分かりました。そこで、部制の導入を提案します。部制の導入により、関係担当者間の連携強化が図られると共に、町長の政策を効率的に議論し、円滑な意思疎通も可能になると思います。行政組織の強化、効率化、そして働きやすい職場となるためにも、是非、導入すべきだと思います。

答 『時間をかけて検討する必要がある』

すでに部制を導入している他町村の状況を聞き、どのようなメリットやデメリットがあるのか調査する必要がある。今、機構改革を考えているので、部制も含め、より良い町政を目指し、じっくりと調査研究し、進めていく。



八雲町に限らず、全国どこでも『心の病』で、職場に行けない人が増えています。以前は、「ゆとり教育の弊害」と言われていましたが、休職している人たちの年齢を見ると、それだけではないことがわかります。縁があって八雲町に就職することになったのですから、一人ひとりの持っている力が最大限発揮でき、その力が結集することで、町の活性化が図られると思います。自己研鑽を重ね、自らの役割と使命を自覚し、プロ意識を持って仕事ができる職場、一人ひとりの努力が大いに報われる職場でなくてはならないと思います。そのためにも、今、試験的に行われている人事評価制度と共に、人材育成基本方針は無くってはならないものですし、策定した以上は、しっかりと活かして、一人ひとりの能力が最大限発揮できる職場を目指してほしいと思います。役場が活性化すると、町民の福祉も向上します。もちろん議員も質の向上を図らなければなりません。



2期8年が終了しました！

早いもので、皆さんの温かい応援を受けて町議会議員となってから 8 年が過ぎました。議会の事はもちろん、町政もほとんどわからなかった自分が、今日まで何とかやってこられたのは、皆さんの温かな支えによるものと、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

皆さんの声を少しでも多く町政に反映させようと、年 4 回の定例会で、毎回一般質問をさせていただきました。そして、議会の内容をしっかりと皆さんにお伝えしようと、会報も定例会ごとに作成し、配布させていただきました。しかし、内容を見るとまだまだ未熟で必要な答弁を引き出せていなかったり、皆さんの最も知りたいことをお伝えできていなかったり、力不足な点が多々ありました。でも、「次はこんな質問してよ！」「ここはどうなっているの？」「会報毎回読んでいるよ！」「わかりやすくて、いいんじゃない！」という皆さんの温かなお言葉に励まされながら、たくさんのことを学ばせていただくことができました。

1 期目では、みんなで勉強し、町民と共に歩む議会を目指し、議会基本条例を策定。議会広報の取材など、議会改革に取り組みました。

2 期目は、議会基本条例をもとに、議会改革を推進。少しでも多くの意見をお聞きしたく、一般会議や議会報告会、議会広報の取材もより広範囲に行いました。文厚委員会では、4 年間の総まとめとして、子育て支援政策の策定にも取り組みましたが、残念ながら皆さんの生活の中に、その成果を実感として感じられることはまだまだ少ないと思います。私が目指す『笑顔あふれるまち』はこれからです。今までの積み重ねの上に、しっかりと成果を実感できるよう、全力で取り組みますので、今後も温かな応援をよろしくお願い致します。

お待ちしております！



赤井むつみ後援会事務所開きのご案内！

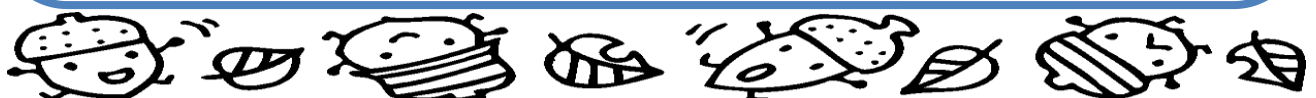
日 時：9月20日（水）午後7時～

場 所：高木水産倉庫（八雲町住初町126）

内 容：まちづくりについて、意見交換！

『住んで良かった、これからも安心して住めるまち』
を目指し、一緒に考えましょう！

日ごろの思いを大いにぶつけてください！





生涯学習フェスティバルが開催されます！

今年の秋は今のところ暖かく、過ごしやすいですね。秋と言えば学びの秋ということで、10月～12月には、教育委員会主催、実行委員会主管で『生涯学習フェスティバル』が行われます。今年も今まで以上に充実した内容を目指しておりますので、是非、隣り近所お誘いあわせの上、楽しく参加し、多くの事を学び、まちづくりに生かしていきましょう！皆さまのご参加を、心からお待ちしております。主なものを紹介いたしますが、その他詳しいことは町広報の中のお知らせで！

★家庭教育支援講座：『遊びの大切さを伝えよう！大人も楽しく遊ぼう』

10月19日（木）午後7時～8時半 ◇会場 八雲町公民館

★大人も子どもも木工に挑戦：10月25日（水）午後6時半～8時半

◇会場 八雲町公民館

大人は木のカバン 子どもは、木のカバンか小物入れ

★ジオパークツアー：10月28日（土）9：00～15：00

（森町・鹿部方面） ◇会場 八雲町公民館集合・出発

★うまいもの自慢 in 八雲町：11月12日（日）10：00～13：00

◇会場 八雲町公民館

★キッズパフォーマンス：12月3日（土）13：00～16：00頃

◇会場 八雲町民センター

今回のメイン！

生涯学習フェスティバル講演会

日時：10月30日（月）午後7時 会場：はぴあやくも

講師：湯浅 誠 氏（法政大学現代福祉学部教授）

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年間に閣府参与に就任。

テーマ：『ヒーローを待っていても世界は変わらない』

多くの皆さまの参加をお待ちしております！



赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX＝62-3632 電話＝080-5588-2090（赤井）

赤井自宅 栄町56-12（栄町3区） ☎ 63-2090

ホームページは「赤井むつみ」で検索してください！